

議案第 1 号資料

令和 7 年度
事業報告書

〔 自 令和 7 年 4 月 1 日
至 令和 8 年 3 月 3 1 日 〕

社会福祉法人 下野市社会福祉協議会

令和7年度社会福祉法人下野市社会福祉協議会事業報告

1. 法人運営

(1) 理事会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
第1回 6月9日（月） （午前10：00～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	9名	－議案－ （1）令和6年度下野市社会福祉協議会事業報告について （2）令和6年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について （3）令和7年度下野市社会福祉協議会定時評議員会開催における招集事項について （4）下野市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について －その他－ （1）令和6年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について
第2回 6月24日（火） （午後1：30～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	14名	－議案－ （1）下野市社会福祉協議会会長及び副会長の選定について （2）下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について （3）下野市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について （4）下野市社会福祉協議会苦情解決第三者委員の選任について
第3回 11月4日（火） （午前9：30～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	13名	－報告－ （1）会長の職務執行状況について －議案－ （1）令和7年度下野市社会福祉協議会1次補正収支予算（案）について （2）下野市社会福祉協議会表彰被表彰者の決定について （3）令和7年度第2回下野市社会福祉協議会評議員会開催における招集事項について

第4回 3月13日（金） （午前9：30～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	13名	－報告－ （1）会長の職務執行状況について －議案－ （1）令和7年度下野市社会福祉協議会2次補正収支予算（案）について （2）令和8年度下野市社会福祉協議会事業計画（案）について （3）令和8年度下野市社会福祉協議会収支予算（案）について （4）令和7年度第3回下野市社会福祉協議会評議員会開催における招集事項について －その他－ （1）令和8年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支予算について
---	------------------------------------	------------	--

（2）評議員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
定時（第1回） 6月24日（火） （午前10：00～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	15名	－議案－ （1）令和6年度下野市社会福祉協議会事業報告について （2）令和6年度下野市社会福祉協議会収支決算報告について （3）下野市社会福祉協議会役員（理事及び監事）の選任について －その他－ （1）令和6年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支決算について
第2回 11月17日（月） （午前10：00～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	21名	－議案－ （1）令和7年度下野市社会福祉協議会1次補正収支予算（案）について

第3回 3月25日（水） （午前9：30～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	18名	－議案－ （1）令和7年度下野市社会福祉協議会2次補正収支予算（案）について （2）令和8年度下野市社会福祉協議会事業計画（案）について （3）令和8年度下野市社会福祉協議会収支予算（案）について －その他－ （1）令和8年度日本赤十字社栃木県支部下野市地区収支予算について
---	------------------------------------	------------	---

（3）評議員選任・解任委員会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
6月24日（火） （午後3：00～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」会議室	5名	－議案－ （1）下野市社会福祉協議会評議員の選任について

（4）監査会

期 日	会 場	出席人数	内 容 等
5月27日（火） （午前10：00～）	市保健福祉センター 「ゆうゆう館」 ボランティアルーム	2名	（1）令和6年度事務事業の執行について （2）令和6年度収入支出会計監査について （3）その他

(5) 会員募集

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期 日	備 考
社協会員募集	市民の福祉ニーズに応え、地域福祉の向上と事業推進を図るため、自治会・事業所等の協力を得て会員募集を行った。 ・会費の種類 ＜普通会員＞ 12,199,000円 【12,427,800円】 ＜特別会員＞ 764,000円 【642,000円】 合 計 12,963,000円 【13,069,800円】 ・普通会員（自治会）加入率 約 79.4% 【約 80.2%】	募集活動期間 5月～7月 （受付は通年実施）	・普通会員 戸別 12,175件 個別 5件 【12,380件】 ・特別会員 法人事業所 150件 個人 2件 【132件】

2. 地域福祉

(1) 地域福祉事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考
生活支援体制整備事業 (市受託事業)	高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、住民が主体となって取り組む支え合いの体制づくりを推進し、地域の関係機関と連携を図りながら、次の事業を実施した。 ・第1層協議体・第2層協議体・SC会議、合同会議の開催 ・地域資源データベース「しもつけケアナビ」の活用 ・広報啓発、事業説明会の開催 ・市民主体の有償ボランティア組織への支援 ・地域ふれあいサロンへの後方支援	通 年	職 員 第1層SC 1名 第2層SC 6名 第1層協議体 年2回 【年2回】 第2層協議体 年32回 【年33回】 SC会議 年32回 【年44回】 合同会議 年12回 【年12回】
	市民講演会の開催	7月26日 国分寺公民館大ホール	参加者 66名
	地域デビュー準備講座(担い手育成)	12月9日 ゆうゆう館 会議室	参加者 15名
	サロン運営担当者意見交換会	8月20日 国分寺公民館大ホール	参加者 66名 (42サロン)
	有償ボランティア団体情報交換会	9月4日 ゆうゆう館 ゆうがお 作業所	参加者 有償ボラ3団体、高齢福祉課、地域 包括支援センター、第1・2層SC
	高齢者健康安全運転講座	①4月16日 きらら館 健診室 ②10月15日 南河内公民館 会議室	①参加者 20名 ②参加者 18名

地域ふれあいサロン事業 (市受託事業)	高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らせるよう、住民同士がふれあう場を作り、地域で支え合うという意識の向上を図るため、サロン活動の運営支援を行った。	通 年	<サロン設置数> 南河内地区 23サロン 石橋地区 25サロン 国分寺地区 17サロン 合 計 65サロン 【65サロン】
地区社協の組織整備	住民参加による地域福祉のコミュニティ組織として、各地域の実情に応じた福祉事業に取り組む2地区のコミュニティ推進協議会を対象に、助成金の交付および事業運営の支援を行った。 また、新たに組織整備を検討している地区についても、情報収集や意見交換を行いながら、地区社協活動への取り組みを働きかけた。	(東方台地地区) ・国分寺東小学校 ・友愛館	七夕飾り交流会 80名 子育て支援活動 110名 学習支援・子ども食堂 280名 まちの保健室 60名
		(姿西部考古台地地区) ・たんぽぽ館 ・旧国分寺西小学校 ・聖武館	夏まつり 150名 レクリエーション大会 100名 グランドゴルフ交流会 30名
地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会	第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画(令和4年度～令和8年度)推進委員会を開催し、進捗状況等についての説明を行った。	8月8日(金) 下野市役所 203会議室	参加委員 14名 【13名】

第10回しもつけ福祉大会	みんなで支え合う福祉のまちづくりの実現を目指して、市民と福祉関係者が連携し地域福祉活動への理解を深めるとともに、社会福祉の発展に貢献された方々を表彰した。 第1部 式典 会長表彰、高額寄付者感謝状贈呈 第2部 講話／「見て、聞いて、やってみる！ ～今からできるフレイル予防～」 第3部 ボランティア活動発表 ※社協HP内に特設コーナーを開設し、講話やボランティア活動発表を動画・画像で視聴できるよう公開した。	11月29日（土） 市保健福祉センター ゆうゆう館 会議室	来場者数 約96名 【72名】 表彰者 ・会長表彰 個人22名、7団体 【個人2名・1団体】 ・感謝状（寄付） 個人2名、1団体 【個人3名、2団体】
登下校時における児童等の地域見守り活動	児童の安全や犯罪防止活動の一環として、通学路等の見守り活動を実施する団体にベスト及び助成金を交付し、活動の支援を行った。	通 年	老人クラブ 13クラブ その他の団体 4団体 活動人数 206名 【309名】
災害ボランティアセンター設置・運営のための支援体制づくり	災害発生時の初動対応等に備え、全職員を対象にシステム掲示板を活用した職員初動訓練（情報伝達）を実施した。 また内部研修を実施し、災害ボランティアセンター設置時の「ボランティア受付」におけるICTの活用方法を学び、災害ボランティアセンター運営に関する知識を深めることで本会職員の意識向上を図った。	<情報伝達訓練> 2月17日～19日 <内部研修> 2月21日（土） ゆうゆう館 会議室	（内部研修参加職員） 25名
緊急食料等給付事業	緊急的かつ一時的に生活の維持が困難となった方に対し、必要な食料の給付によって生活の再建を支援した。	通 年	利用世帯 37世帯 【36世帯】

フードドライブ事業	地域での支え合いの活動を広げることを目的に、家庭などで眠っている食料品等を寄付いただき、支援を必要としている世帯や団体などを対象に配布した。	通 年	寄付量 米 1, 1 9 2 kg 【355kg】 食料品 5, 5 1 3 点 【2,096 点】 配布会実施回数 3 回 【3 回】 配布者数 3 1 2 世帯 【278 世帯】
赤い羽根はぁと事業(生理用品無償配布事業)	経済的理由等で、生理用品を入手することが困難な方を対象に、生理用品を無料配布した。	通 年	希望する市内小中学校 7 校 【1 3 校】 社協窓口 1 セット 関係機関へ 3 3 セット 【社協窓口 8 セット】
ファミリー・サポート・センターの運営 (市受託事業)	子育てを支援してほしい人と手助けをしたい人が会員となり、地域における相互支援活動が円滑に行われるよう調整を行った。また会員向けの研修や交流会等を実施した。 ○相互支援活動実績(延べ回数) ①保育園、幼稚園等の子に関する支援 1, 8 1 0 回 ②学校、学童の子に関する支援 1, 1 6 1 回 ③子の習い事等に関する支援 1, 9 2 2 回 ④保育園・学校等休み時の支援 9 回 ⑤保護者等の就労や外出に関する支援 2 7 4 回 ⑥その他の支援 7 回 ○会員募集の事業説明 3 回 ○会員交流会等 2 回 参加合計 4 8 名	通 年	会員数 依頼会員 3 1 1 名 提供会員 7 4 名 両方会員 4 名 合計 3 8 9 名 相互支援活動 総実績数 合計 5, 1 8 3 回

(2) ボランティアセンター運営事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考
ボランティアセンターの運営	ボランティア活動についての相談受付、活動紹介、情報の提供及びボランティア保険の取扱いを行った。 また、ボランティア活動推進のためのボランティア育成・広報啓発活動を行った。 ・ボランティア活動に関する相談対応件数 30件【43件】 ・上記相談に関しての紹介件数 22件【33件】 ○社協・ボラセン事業に関するボランティア調整、派遣 ・障がい児者交流事業 6名【8名】 ・ふくし移動講座 91名【99名】 ○下野市の事業に関するボランティア調整、派遣 ・障がい児者スポーツ交流会 4名【4名】	通 年	登録者数 (個人) 60名 【50名】 (団体) 79団体 【74団体】 合 計 1,710名 【2,103名】
手話講座（入門コース）	手話に興味のある市民を対象に、聴覚障がいに対する理解とボランティア活動への関心を高め、手話を学習する機会を提供するため手話講座を開催した。	<全15回：毎週木曜日> 6月12日～9月25日 ゆうゆう館 ボランティアルーム	受講者 6名 【10名】
なつ・ジュニアふくし体験学習	子どもたちの福祉に対する関心や理解を高め、ボランティア活動への参加のきっかけ作りを目的に、市内の小学4～6年生を対象に実施した。盲導犬ユーザーのお話や五感体験、パラスポーツ指導者協議会の協力を得てラダーゲッター体験を行った。	7月30日（水） ゆうゆう館 会議室・大ホール	参加者 34名 【30名】

傾聴ボランティア講座	相手の気持ちに寄り添い、話に耳を傾け心をこめて聴く「傾聴」について、初心者の方を対象に基礎的な知識やコツを学び、傾聴ボランティア活動へのきっかけ作りとして開催した。(国分寺公民館との共催)	<全5回：毎週火曜日> 10月7・14・21・28 日、11月4日	受講者 13名 【18名】
音訳ボランティア体験講座	「視覚障がい者等声の宅配サービス」を行うための音訳ボランティアを育成するため、3回にわたり講座を開催した。	<全3回：毎週金曜日> 10月10・17・24日	受講者 4名 【1名】
災害ボランティア講座	身体に障がいのある方への災害時の支援方法について知識を習得し、地域での支え合いの意識を高めることを目的として開催した。当事者の方から避難生活に関するお話を聞き、障がい特性を考慮した災害避難ゲームを行い体験の共有をした。	2月11日（水・祝） ゆうゆう館 大ホール	受講者 18名 【17名】
ボランティアセンター情報の発信	ボランティアセンターで開催する各種講座の募集や報告、ボランティアに関する情報等を、社協だより「ボランティアセンター情報コーナー “きらり”」に掲載し、市民に周知した。	年6回掲載 5月・7月・9月・11月・ 1月・3月	各戸配布及び関係機関窓口 16,700部 【16,700部】
視覚障がい者等への声の宅配サービス	音訳ボランティアが「社協だより」や「広報しもつけ」などを音訳したCDを、視覚障がいのある方等に送付した。	通 年	利用者 10名
ボランティア交流会の開催	ボランティア同士やボランティアに関心がある方々とのネットワークづくりを目的として、簡単にできるセルフケアストレッチや、資生堂の協力を得て口腔マッサージやスキンケアを開催し、併せて意見交換による交流を深めた。	第1回 7月14日（月） 第2回 2月 4日（水） ゆうゆう館 会議室	参加者 第1回 19名 第2回 18名 計 37名 【46名】

収集ボランティア	市民からプルタブや使用済み切手等を収集し、換金や福祉団体への送付を通じた福祉活動の支援を行った。 ○回収場所：ちょボラステーション 4か所 ・市民活動センターしもぷら ・南河内公民館 ・石橋公民館 ・社協窓口	通 年	＜協力件数＞ プルタブ 1 8 6 件 使用済み切手 1 1 1 件 ベルマーク 6 0 件 テレホンカード 3 件 書き損じはがき 7 件
----------	---	-----	--

(3) 福祉教育・啓発事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考
ふくし移動講座	地域や学校、団体等を対象に、福祉に対する理解や関心を深めるため、地域のボランティアの協力を得ながら様々な福祉学習プログラムを提供した。 (内 容) ・視覚障がいに関する講話と点字学習 ・聴覚障がい者による講話と手話体験 ・身体障がいに関する講話と車イス体験 ・高齢者に関する講話と高齢者疑似体験	通 年 各学校の教室、体育館等	小学校 7校 義務教育学校 1校 特別支援学校 1校 福祉団体 1団体 延べ 18回 【20回】
福祉活動費助成事業	市内小学校、中学校、義務教育学校及び高等学校を対象に、福祉への理解と関心を高めるとともに、児童・生徒への福祉活動啓発を目的として、1校あたり50,000円の助成を行った。 (義務教育学校は、100,000円の助成)	年 間	市内小学校、中学校、義務教育学校、高等学校 13校 【13校】
実習生・職場体験学習受入	福祉現場実習、職場体験学習を希望する学生を受け入れ、指導・育成を行った。 ・学校名 国際医療福祉大学 1名 - 東洋大学 1名 - 自治医科大学看護学部 6名 - 獨協看護専門学校 5名 - 県立衛生福祉大学校 2名	社協事業 全般 〃 生活支援体制整備事業 地域包括支援センター 〃	実習生数 15名 【14名】

(4) 福祉イベント事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考
第19回 しもつけふくし フェスタ・2025	市民の地域福祉に対する理解を高め、あたたかいまちづくりを目指すため、人と人とがふれあう場や福祉を身近に感じていただく機会として、「つながり愛」をテーマにしたイベントを開催した。 (内容) わくわくステージ、お楽しみ抽選会、ふくし標語コンテスト、福祉団体活動パネル展示、チャリティー模擬店、キッズコーナー(昔遊び等)、各種福祉体験・事業PRコーナー、フードドライブ募集	10月4日(土) ゆうゆう館	来場者数 1,391名 【1,237名】 ステージ発表 7団体 【7団体】 ふくし標語コンテスト 応募者数 267作品 【158作品】 パネル展示 26団体 【27団体】 模擬店出店数 24団体 【21団体】
ふれあいふくし運動会 (市共催事業)	老人クラブ連合会・身体障害者福祉会・心身障害児者父母の会等の福祉団体会員、地域ふれあいサロン参加者、障がい者施設利用者及び認定こども園・保育園・幼稚園の子どもたちが、一緒にスポーツを楽しみながら交流と親睦を図ることを目的に、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て運動会を開催した。	10月29日(水) 国分寺運動公園	参加・協力団体 30団体 【19団体】 認定こども園・保育園、幼稚園 3か所 【3か所】 参加者 計586名 【365名】

障がい児者交流会	心身障がい児者とその家族及び障がい児者団体が、レクリエーション等を通して交流と親睦を深めることを目的に、民生委員・児童委員、ボランティア等の協力を得て開催した。 (内容) ふくべ細工絵付け体験、ランチ交流会	2月14日(土) ゆうゆう館 大ホール	障がい児者・家族 27名 民生委員児童委員 12名 ボランティア 10名 計49名 【59名】
親子ふれあい事業	小学生とその保護者を対象に、福祉への理解を深め思いやりの心を育むことを目的としたプログラムを、全2回にわたり実施した。 (内容)・1回目 赤い羽根共同募金、特別支援学校について ・2回目 盲導犬について	1回目 12月6日(土) ゆうゆう館 会議室 2回目 12月13日(土) ゆうゆう館 会議室	参加者 1回目 14名 (大人7名、子供7名) 2回目 20名 (大人9名、子供11名) 計34名 【40名】

(5) 成年後見サポートセンター事業【市受託事業】

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
成年後見サポートセンター事業	地域で安心して生活が継続できるよう、権利擁護及び成年後見制度の利用促進を図り、制度利用が必要とされる方への支援体制の充実を目指して「成年後見サポートセンター」の業務を実施した。 ・広報・啓発業務… パンフレット配布、社協だより、市広報掲載、FM ゆうがお等 ・セミナー、講話会… 市民を対象としたセミナーを開催 出張型のミニ講話会を地域包括支援センターと共催で実施 ・相談対応、申立書類作成や手続きの助言 ・巡回型の「成年後見制度なんでも相談会」に相談員として参加（年12回） ・中核機関として、各種会議を開催 - 相談窓口連絡会議：6回 ケース会議開催及び参加：1回 - 受任候補者調整会議：1回 後見人等のチーム会議開催：1回 ・地域連携ネットワーク構築のための「成年後見制度利用促進協議会」開催（2回）	研修会参加者 34名 【38名】 ミニ講話会開催 5回 【12回】 新規相談件数 44件 【31件】 相談対応件数 延べ88件 【135件】

(6) 法人後見事業の推進

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
法人後見事業の推進	認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方、意思決定が困難な方の支援を行うため、法人として後見業務を受任し財産管理や身上保護を中心とする権利擁護支援に取り組んだ。 ・後見業務（身上保護、財産管理） ・法人後見運営委員会の開催（集合会議 3回）	受任数（後見、補助） 5名 【6名】 対応延べ回数 316回 【366回】 委員会開催 3回 【3回】

(7) 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
日常生活自立支援事業 (あすてらす・しもつけ)	認知症高齢者や障がい等により判断能力に不安がある方に対して、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類・印鑑等の預かりサービス等を行い利用者が安心して地域で自立した生活が送れるように支援した。 ・専門員の配置（4名） ・生活支援員の配置（社協職員3名、登録者7名） ・サービス内容 福祉サービスの利用援助・日常的な金銭管理サービス 1,000円／時間 書類等の預かりサービス 500円／月 ・新規相談件数 12件 ・新規契約数 0件 ・解約件数 8件（認知症高齢者、精神障がい者、身体障がい者）	利用者数 認知症高齢者等 9名【12名】 知的障がい者 11名【11名】 精神障がい者 3名【3名】 身体障がい者 1名【1名】 合計 24名【27名】 活動支援実績 349回【470回】 相談対応件数 305回【450回】

(8) 生活困窮者自立支援事業（くらし応援センターささえーる）【市受託事業】

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
自立相談支援事業	生活困窮者からの相談に応じて課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分確認することで、個人の状態に合った支援計画の作成や住居確保給付金申請手続きを行い、関係機関との連携を含めた支援を包括的・継続的に実施した。 また、生活困窮者に対するプラン及び関係機関とのネットワークづくり等を行うため支援調整会議を開催した。	新規相談受付件数 112件【130件】 相談延べ件数 2,745件【2,945件】 プラン作成件数 29件【30件】 就労者数 14件【19件】 住居確保給付金申請件数 0件【2件】 支援調整会議 集合型 2回【2回】 書面 10回【10回】
家計改善支援事業	滞納や多重債務等、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、家計管理に関する支援を行った。	新規相談受付件数 83件【87件】 相談延べ件数 1,545件【1,777件】 プラン作成件数 29件【30件】
就労準備支援事業	複合的な課題を持つなどの理由により直ちに就労することが困難な方に対して、就労の準備としての基礎能力を養うためのプログラム提供や、ハローワーク等と連携した就労支援を行った。 ・プログラムの種類 履歴書の作成、パソコン講座（ビジネス文書検定）、自己分析（マイマップづくり）、面接練習、調理実習、手芸、運動教室、ウォーキング、地域清掃等	新規相談受付人数 4件【8件】 相談延べ件数 426件【478件】 プログラム実施回 216回【234回】 プログラム種類 29種【24種】

(9) 福祉サービス利用支援事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
バス利用助成事業	福祉団体の活動及び社会参加を支援するためにバス借上げ費用の一部を助成した。 ※借上げ料の2分1（限度額50,000円）	助成件数 8件 【7件】
手押し車の購入助成事業	高齢者の外出等に使用する手押し車購入費の一部を助成した。 ・対象者 おおむね75歳以上で手押し車を必要とする方 ・助成額 購入費の2分の1（限度額5,000円）	利用者 20件 【29件】
福祉用具等貸出事業	本会が所有する福祉用具・備品及びその他イベント用物品の貸出しを行った。 ＜貸出用具＞ 車椅子、綿あめ機、ポップコーン機、イベント用具（輪投げ、ボッチャ、モルック）等	車椅子 59件 【83件】 イベント用具等 133件【156件】
安全帽子購入助成事業	児童の交通安全・事故防止を目的として、市内の小学校と義務教育学校の新入学児童を対象に、学校指定の安全帽子購入費用の全部または一部を助成した。 (1名あたりの上限額1,200円)	市内小学校・義務教育学校 9校 445名 【9校 507名】

(10) 相談事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考
心配ごと相談所事業	市民の日常生活上の相談に応じ、適切な助言を行った。 - 相談員 民生委員・児童委員、主任児童委員、人権擁護委員、行政相談委員 - 時間 午後1:30～3:30 ※子育て相談を、主任児童委員が年6回開催した。	毎月第1・3火曜日 ゆうゆう館 相談室	22件 【25件】
無料法律相談事業 (市受託事業)	弁護士による無料法律相談（予約制）を実施した。 - 相談員 栃木県弁護士会より派遣 - 時間 午後1:30～4:00	毎月第2・4火曜日 ゆうゆう館 相談室	160件 【155件】

(11) 資金貸付事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
小口資金貸付事業	緊急に生計の維持が困難になった方に対し、生活費等の資金貸付けによる経済的自立及び生活の安定を図るため、30,000円（無利子）を限度に貸付を行った。	相談件数 33件【18件】 貸付数 21件【10件】
生活福祉資金貸付事業 (県社協受託事業)	低所得者、障がい者、高齢者、生活困窮者、避難世帯等を対象に資金の貸付と民生委員・児童委員による必要な援助を行うことにより、経済的自立と生活意欲の向上を図った。 資金の種類 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金	貸付数 1件【1件】
特例貸付フォローアップ支援事業 (県社協受託事業)	新型コロナウイルス特例貸付の利用者に対して、償還に関する各種相談と、安定した生活や自立に向けたフォローアップ支援を行った。	支援者数 143名 【145名】 延べ対応件数 346件 【535件】

行旅人援護事業	行旅人に対し援護費の支給を行った。 ・支給額 小山駅または宇都宮駅までの鉄道運賃額	支給件数 2 件 【1 件】
---------	---	------------------------------

(12) 広報・啓発活動

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期 日	備 考
広報紙の発行	市民に向けて社会福祉事業に関する情報等を提供し、社会福祉協議会に対する理解を図るため、広報紙「しもつけ社協だより」を発行した。	年6回発行 5月、7月、9月、 11月、1月、3月	各戸配布及び関係機関窓口 16,700部発行 【16,700部】
ホームページの活用	本会の運営や各事業に関すること等、ホームページを活用して迅速な情報発信を行った。	通 年	情報更新回数 78回 【68回】
YouTube（ユーチューブ） チャンネルの活用	本会の事業やイベント等を動画配信で分かりやすく周知するため、YouTubeの「しもつけ社協チャンネル」により情報発信を行った。	通 年	動画投稿件数 8件 【9件】
Instagram（インスタグラム）の活用	幅広い世代に対し本会の事業内容や活動を周知することを目的に、Instagramにより情報発信を行った。	通 年	投稿件数 97件 【70件】
FMゆうがおの出演	FMゆうがおの番組「しもつけピタっとラジオ」内に「下野市社協コーナー」を設けて職員が出演し、各種事業のPRに努めた。	毎月1回程度	出演回数 12回 【12回】

報道機関の活用（PR）	各新聞社、ケーブルテレビ等の報道機関を積極的に活用し、本会活動PRのため情報発信を行った。 7月：なつ・ジュニアふくし体験学習（ケーブルテレビ・とちぎテレビ・NHK宇都宮放送） 7月：ボランティア交流会（下野新聞） 10月：ふくしフェスタ2025（FMゆうがおくらしパレット） 10月：ふれあいふくし運動会（NHK宇都宮放送・ケーブルテレビ） 11月：しもつけ福祉大会（ケーブルテレビ）	通 年	掲載・出演数 5社 7回 【3社、8回】
-------------	---	-----	--

（13）共同募金事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期 日	備 考
共同募金運動の実施	市民を対象に一世帯あたりの募金目安額を800円とした募金活動と、法人・学校・職域への募金依頼、街頭募金・赤い羽根自販機募金等を実施した。 また、市内事業所に募金箱設置の協力を依頼した。 ・募金合計 <u>10,620,828円</u> 【10,925,127円】	10～12月	法人 111社 【105社】 戸別 12,384戸 【12,937戸】 学校・職域・街頭募金等 65件【53件】 うち募金箱設置協力事業所 23か所【16か所】

歳末見舞品配分事業	市内在住の75歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に各地区民生委員・児童委員の協力により歳末見舞品を配布した。 配布品：おせちセット・切り餅・小学生のぬり絵メッセージカード ＜メッセージカード協力＞ 市内小学校（1～3年生）9校	12月	ひとり暮らし高齢者 南河内地区 242名【231名】 石橋地区 413名【394名】 国分寺地区 313名【313名】 合 計 968名 【938名】
災害見舞金の配分	市民が火災等の非常災害を被災した際、当該世帯に対する見舞金・弔慰金の配分を行った。	通 年	3世帯 【0世帯】
共同募金運営委員会の開催	＜第1回＞ 令和6年度事業報告、令和6年度栃木県共同募金会下野市支会寄付金会計収支決算及び事務費会計収支決算について報告した。	6月9日(月) 社協理事会終了後	委員出席数 9名
	＜第2回＞ 令和8年度事業計画(案)、令和8年度栃木県共同募金会下野市支会寄付金会計収支予算(案)及び募金事務費会計収支予算(案)について協議した。	3月13日(金) 社協理事会終了後	委員出席数 13名

(14) 日本赤十字社事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期 日	備 考
赤十字活動資金募集	市民を対象に一世帯あたりの目安額を500円とし、赤十字活動資金の募集を行った。 合計 6,174,550円 【6,322,450】	5月～6月	12,630件 【12,850件】
災害救援物資の配分等	市民が火災などで被災した際の救援物資の配分及び弔慰金の支給を行った。	通 年	3世帯 【0世帯】
救急法基礎講習	業務中や事業開催及び施設内で発生した不慮の事故に対し、円滑かつ迅速に対応できるようにするため、職員及びボランティア等の関係者を対象に救急法基礎講習を実施した。	7月8日(火)	参加者 職員 12名 ボランティア 1名

(15) 福祉団体の支援

下記団体が実施する活動に対して、助成金を交付し事務事業の支援を行った。

①事務局および助成金交付団体(合計1,210,000円)

団 体 名	助成額	主な事務・事業支援内容
下野市ボランティア連絡協議会	350,000円	活動者相互の交流や情報交換の場の提供、各種事業の開催を通してボランティア活動の推進が図れるよう支援を行った。
下野市老人クラブ連合会	300,000円	会員の福祉向上と相互の親睦、資質の向上を図る事を目的とし、社会奉仕・スポーツ大会・老人クラブ大会・福祉のつどい・研修会等の活動を行い諸団体との交流が図れるよう支援を行った。

下野市身体障害者福祉会	260,000円	障がい者の福祉向上と会員相互の親睦、資質の向上を図るため支援を行った。
下野市心身障害児者父母の会	100,000円	心身障がい児者の福祉の向上を図る事を目的とし、各種活動を通じ諸団体との交流が図れるよう支援を行った。
下野市遺族会	200,000円	英霊の顕彰・戦没者遺族の福祉向上と会員相互の親睦を図る為、追悼式・慰霊祭、各種研修会等の支援を行った。

②助成金交付団体等（合計 1,150,000円）

- 下野市自治会長連絡協議会 (助成額 100,000円)
- 下野市子ども会育成会連絡協議会 (助成額 80,000円)
- 下野市民生委員児童委員協議会 (助成額 300,000円)
- 下野市おもちゃの図書館 (助成額 120,000円)
- 下野市人権擁護委員会 (助成額 50,000円)
- 下野市特別支援学校合同研究会 (助成額 200,000円)
- レクリエーション教室 (助成額 300,000円)

3. 在宅福祉

【介護保険事業】

(1) 居宅介護支援事業

・利用者が日常生活を営むために必要な居宅サービスが利用できるよう、サービス提供に係る事業者等と調整しケアプラン作成に取り組んだ。

※利用者については他事業所へ円滑に移行し、令和7年5月31日をもって事業終了した。

①ケアプラン作成

※【 】は6年度実績

事業所名	介護支援 専門員数	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ケアプランセンター 下野市社協	常勤2名	36	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	42名 【725名】

②ケアプラン介護区分別作成人数

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
21	10	6	3	2	42名

③予防プラン作成人数

※【 】は6年度実績

利用者人数(月別)												合計
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2名【56名】

(2) 通所介護事業

・総合事業対象者や要介護認定を受けた方に対し、入浴サービス・食事・生活相談等の支援を行った。

※利用者については他事業所へ円滑に移行し、令和7年9月30日をもって事業終了した。

※【 】は6年度実績

事業所名	介護区分	利用者人数(月別)												合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
下野市社協 デイサービス センターのぞみ	事業対象者	4	4	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	16
	要支援1	2	2	2	1	1	0	-	-	-	-	-	-	8
	要支援2	9	9	9	1	1	0	-	-	-	-	-	-	29
	要介護1	8	7	6	3	0	0	-	-	-	-	-	-	24
	要介護2	4	4	4	2	1	0	-	-	-	-	-	-	15
	要介護3	5	5	2	0	0	0	-	-	-	-	-	-	12
	要介護4	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
	要介護5	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	0
	合計	32	31	27	9	4	1	-	-	-	-	-	-	104名 【429名】

【障害福祉サービス事業】

（１）野のはな舎 （就労継続支援Ｂ型事業所なのはな・すみれから、９月１日に名称変更）

就労継続支援Ｂ型事業では、一般の事業所に雇用されることが困難であり、雇用契約に基づく就労が困難である方々に対して、就労の機会の提供及び生産活動の機会の提供、その他の就労に必要な知識及び能力の向上に必要な訓練、支援を行った。

また、９月より開所した生活介護事業では、日常の生活支援や看護職員による健康管理を実施し、多機能型事業所としてのサービス提供を行った。

（就労Ｂ作業内容） 箱折り、ネームタグ、プラスチック部品組み立て、封入作業、緩衝材作製、野菜袋詰め、解体、ハンガーリサイクル等

※【 】は６年度実績

内 容	利 用 実 績（月別）												合 計
	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月	
利用人数 就労Ｂ	20	18	20	20	20	20	21	19	20	21	20	23	242 名 【242 名】
生活介護	—	—	—	—	—	1	1	1	1	2	3	3	12 名
延べ利用件数 就労Ｂ	345	319	356	378	307	322	336	270	317	308	285	342	3885 件 【4038 件】
生活介護	—	—	—	—	—	18	22	17	19	20	16	30	142 件

(2) 特定相談支援事業所

障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するため、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、利用者及び家族等の相談に応じ各種サービスの利用援助・調整を行い、サービス等利用計画の作成等を行った。

※【 】は6年度実績

事業名	利用者人数(月別)												合計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
特定相談支援事業	8	5	11	3	7	3	6	6	5	4	7	6	71名 【71名】

【地域支援事業】

(1) 地域包括支援センター事業「地域包括支援センターこくぶんじ」(市受託事業)

①地域包括支援センターの運営

地域で暮らす高齢者等が要介護状態または要支援状態となることを予防し、社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう関係機関との連携を図り、支援を行った。

1) 総合相談支援事業

相談対応件数 7, 605件 【7, 103件】

上記のうち新規件数 383件 【386件】

※【 】は6年度実績

	相 談 内 容												実態把握	申請補助
内容	介護予防・ケアマネジメント	介護保険	認知症	精神・知的障がい	身体・生活全般	経済	行政福祉サービス	権利擁護	CM相談支援	医療連携	社会資源連携	その他		
件数	3,314	1,666	357	53	964	85	129	168	193	174	116	386	129	167

2) 権利擁護事業

※【 】は6年度実績

種 別	事 業 の 概 要 等	備 考
成年後見制度利用支援	成年後見制度の利用が必要と思われる高齢者本人や親族に対し、制度の説明、関係機関の紹介等を行い、制度利用への支援を行った。	対応件数 49件 【124件】
虐待対応	虐待が疑われる事案において、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者も関する支援等に関する法律」及び「下野市高齢者虐待対応マニュアル」等に基づき市と連携して対応を行った。	通報受理件数 3件 【3件】 対応件数 90件 【89件】

3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
包括的・継続的なケア体制の構築業務	高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、自立支援の促進、情報交換等の場や関係機関との連携・協働の体制づくりを図った。 ・ケアマネジャー連絡会活動協力 ・障がい児者相談支援センター・地域包括支援センター連絡会 ・自立支援型地域ケア会議 ・地域ケア個別会議 ・地域ケア推進会議	開催数 9回 【4回】 開催数 3回 【5回】 開催数 2回 【4回】 開催数 3件 【2件】 開催数 1回 【1回】

4) 認知症施策推進事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
認知症の正しい知識の普及・啓発と予防	認知症の正しい知識を啓発し誰もが暮らしやすい地域をつくるため、下記講座の開催や、認知症ケアパス作成・普及活動を行った。 ・認知症サポーター養成講座 ・市民講演会への協力	開催数 4回 【4回】 参加数 1回 【1回】

認知症初期集中支援推進事業	認知症の早期診断・早期対応が必要な個別事例を、認知症初期集中支援チームにつなげ、サポート医や専門医を交えた支援方法の検討を行い実施した。	チーム員会議 3回【3回】 ケース件数 1件【2件】
認知症地域支援の推進	地域人材と連携した取り組みを推進し、認知症の方や介護者が交流する場を支援した。 ・キャラバンメイト連絡会 ・チームオレンジの支援 ・認知症家族交流会 ・認知症カフェでの講話	参加数 2回【1回】 対応回数 21回【16回】 参加数 3回【12回】 参加数 12回【13回】

5) 事業連携業務

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
在宅医療・介護連携事業	医療と介護が一体的・効果的に提供されるよう、関係者間の情報連携と質の向上を図り、市民に向けた啓発活動を行った。 ・在宅医療・介護連携推進協議会 ・多職種研修会及び研修	開催数 2回【2回】 開催数 2回【3回】
生活支援コーディネーターとの連携	生活支援体制整備事業の生活支援コーディネーターとの連携や協議を行った。 ・生活支援体制整備事業協力	協議体及び連絡会議等 参加数 32回【37回】

6) 介護予防・日常生活支援総合事業業務

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	備考
一般介護予防事業	健康体操や認知症予防などについて学ぶ介護予防教室を開催する等、介護予防に関する周知・啓発、住民主体活動の支援を行った。 ・介護予防教室等 ・ミニ終活セミナー ・終活セミナー開催協力 ・市高齢福祉課、市民課、健康増進課と連携し、訪問などで健康状態が不明な高齢者へ助言等を行い支援した。 ・地域ふれあいサロン等に出向いて、フレイル予防の普及啓発及び運動、栄養、口腔などの健康教育、健康相談を実施した。	開催数 25回【20回】 参加人数 421名【311名】 開催数 2回【1回】 開催数 1回【2回】 対象者数 15名【22名】 開催数 29回【26回】 対象者数 358名【318名】

7) 介護予防ケアマネジメント支援業務・指定介護予防支援業務

※【 】は6年度実績

内 容	利 用 者 人 数 (月別)												小計	合 計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
予防プラン作成件数	101	98	96	99	101	98	98	97	104	103	103	104	1,202	1,741名 【1,764名】
介護予防・日常生活支援事業 チェックリスト該当者	45	46	47	45	43	51	48	44	42	41	45	42	539	

(2) ふれあいサロン「ゆうゆう」事業（市受託事業）

※【 】は6年度実績

事業名	事業の概要等	期日・会場	備考
ふれあいサロンゆうゆう	一般介護予防事業としてボランティアの協力を得ながら、健康体操や講話・講座・レクリエーションなどを行い、介護予防に努めながら孤立感や不安感の解消を図った。 ・定員 各曜日15名程度	水・木・金曜日 R7.4～10 ゆうゆう館会議室 R7.11～ 多目的ホール	水曜日 332名 【304名】 木曜日 625名 【585名】 金曜日 410名 【511名】 合計 1,367名 【1,400名】

4. ゆうゆう館指定管理業務

※【 】は6年度実績

事業名	業務の概要	内容
「ゆうゆう館」指定管理	市民の保健の向上及び福祉の増進を図り、保健サービスおよび福祉サービスを推進し、施設の効率的かつ効果的な管理運営を行った。	エネルギー価格等の物価高騰の影響により、施設運営においてコスト負担が生じたが、トレーニングルームを活用した各種教室の拡大と充実に努めた。また、ゆうゆう館300万人達成記念事業を通じて周知を図り、入浴施設の利用者増加につなげた。 ○入浴施設等の利用状況 ・天平の湯入館者数 144,717名 【135,109名】 ・利用料収入 34,549,350円 【32,616,430円】 ○各種教室参加者 3,818名 【2,672名】

5. 収益事業

※【 】は6年度実績

事業名	事業概要
天平の花まつりのぼり旗販売	市内外企業等に協力依頼し、天平の花まつり用のぼり旗の販売を行った。 <価 格> 8,800円／本 <販売額> 853,600円 97本 【96本】

6. 視察受入・職員派遣（市外、県外）

	月 日	相手先	人数	視 察、派 遣 内 容 等
視察受入	11月20日（木）	真岡市社会福祉協議会	3名	グループウェア（サイボウズ）について
	1月26日（月）	宇都宮市社会福祉協議会	2名	グループウェア（サイボウズ）、会計処理について
	2月16日（月）	松戸市 明地区社会福祉協議会	28名	ゆうゆう館施設見学、ふくし移動講座、地域見守り活動について
	2月18日（水）	那須塩原市社会福祉協議会	3名	生活困窮者自立支援事業について

※職員派遣は実績なし